

種 目 名	中学校 数学	採択替えの有無	有 ・ 無
発 行 者 名	啓林館	従来の発行者名	啓林館

1 学習指導要領との関連

- 生徒が楽しく、主体的に学習できるようにするため、「見だし発展させる活動」、「数学を利用する活動」、「説明し伝えあう活動」が積極的に展開されている。
- 身につけた数学的な知識を総合的に活用する場面を設け、活用しようとする態度の育成がはかれている。

2 「あいちの教育の基本理念」との関連

- 自らまとめて理解を深める場や、友達と話し合っ解決していく場などを多く設け、自他を大切に学んでいけるよう工夫されている。
- 実生活や歴史と関連する話題を多く示し、数学が継承・創造されていく過程に触れながら学習が進められるよう工夫されている。

3 内容等

(1) 内容の選択

- ・ 既習のことがらをもとに新しい性質を見出したり、答えを求めるだけではなく、その考え方を問う場面も適宜設けたりして、数学的な見方・考え方を進んで活用するよう工夫されている。

(2) 内容の程度

- ・ 「力をつけよう くり返し練習」では、問いと同程度の問題が準備されていたり、MathNaviブック(別冊)「学びをつなげよう」で関連する既習内容がていねいに記載されていたりする。また、「数学広場」には、本編の学習から自然につながる深化・発展的な学習の課題が準備されており、個に応じた学習活動が行えるよう工夫されている。
- ・ 導入の題材や本文中のコラム、巻末の課題の中で日常生活や社会と関連する記述があり、さらにMathNaviブック(別冊)「学びをいかそう」では、各章での学習を活用して身のまわりのことがらを調べた例を紹介し、数学を学ぶ意義や有用性が実感できるように工夫がされている。

(3) 内容の構成

- ・ 教科書本冊を本編(各章)とオプション(力をつけよう、数学広場)の2部構成にし、さらにMathNaviブック(別冊)が用意されている。オプション部分と別冊については、選択して取り上げられるような構成となっており、生徒の個に応じた学習ができるようになっている。

4 表記・表現及び使用上の便宜等

- (1) 用語・記号が定義されているところは太字にして、緑色がつけられており、一目でわかるように工夫している。
- (2) 例、例題にはタイトルをつけて、学習内容がはっきり分かるようにしているとともに、関連する本文の横欄に「力をつけよう」の問題や「数学広場」の課題などのページ数を記載し、利用しやすい。
- (3) 節のとびらでは、観察、操作などを取り入れられていたり、「身のまわりへひろげよう」、「数学展望台」、「学びをいかそう」では日常生活や社会と関連する題材が取り上げられていたり、生徒の興味・関心・意欲が高まるようになっている。

5 印刷・造本等

- (1) 教科書を使った作業がしやすいように、ページを左右いっばいに開くことができる「あじろ綴じ」造本形式を採用し、前見返し、後見返しをつけ堅ろうに造本している。
- (2) 読みやすい文字の大きさ、書体を採用し、単語の途中で改行せず、意味や文節による改行を行って、文章の意味が理解しやすくなるようにしている。また、カラーユニバーサルデザインに配慮した配色になっている。